

「SS研、発信します！」

第16弾

2018.3

核融合科学研究所を紹介します

SS研から情報発信する「SS研、発信します！」
第16弾は、核融合科学研究所におじゃまして、
大谷先生に核融合科学研究所で使われているCAVEを見学させていただきました。



大谷 寛明 準教授

私は助教のところからプラズマのシミュレーションを見やすくするために、AVSエクスプレスを利用して可視化を行っています。しかし、プラズマの動きはとても複雑なので、可視化にはVRが非常に有効です。



●展示されている大型ヘリカル装置の模型。

ここ核融合科学研究所は可視化研究にも力を入れており、科学研究目的として日本で初めてCAVEを導入しました。



●核融合科学研究所。東京は桜が満開でしたが、こちらは標高が少し高いので、まだ桜は咲いていないとのことです。

SS研から情報発信する「SS研、発信します！」

研究の第一段階として
4面CAVEのVR空間内に、
現在稼働中の

大型ヘリカル装置を
本物と同じサイズ感で
再現したデータが
完成しました。
その装置の中に入つて、
その仕組みと構造を
詳しく確認することができます。

CAVEによる可視化技術を、将来の核融合炉の設計に応用する研究

このCAVEでは音の効果も
研究しています。

そこで、4面CAVEで
より効果的にプラズマを
表示し、計算結果を
解析する研究を
進めてきました。

今は広報活動用の
ビジュアルを施した
コンテンツも用意し、
見学者の方々に
体感してもらっています。

これにどういう意味があるのかというと、
次の目標としている
サッカー場ぐらいの
サイズを想定している
巨大な「核融合炉」の組み立てを、
まずはこのVR空間内に
完成させてしまおうと
いうことです。



未来の核融合の研究は？

今からの研究は、
ちょうど
若い研究者が
定年する頃に
結実すると
いわれています。
「地上に太陽を
創り出す日」が
いずれ来ると
思っています。

正門に設置されている「地上の太陽」の実現を目指すシンボルの日時計



●「SS研、発信します！」は、SS研会員の方々のご要望により訪問取材させていただきます！
まずは事務局まで連絡ください！